



2023年度 市政懇談会 ＜小山連合町内会＞

次 第

[日時] 2023年11月8日(水) 18:30 ～ 20:00

[場所] 小山市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長
小山連合町内会

横山 法子
坂井 秀吉

○ 連合会長の挨拶

小山連合町内会 会長 安達 廣美

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 交通インフラ整備

【道路部】

2 境川ゆっくりロードの整備

【道路部】

3 多摩境駅前交番について

【防災安全部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 小山連合町内会 会長代行 森田 哲

2023年度 小山連合町内会 市政懇談会 議事録（要旨）

[日 時] 2023年11月8日（水） 18：30～20：00

[場 所] 小山市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

防災安全部長 大貫 一夫

道路部長 萩野 功一

市民部市民協働推進担当部長 横山 法子

小山連合町内会長 ほか19名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

小山市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長
小山連合町内会

- 連合会長の挨拶
- 市長の挨拶
- 職員の紹介
- 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 交通インフラ整備

小山地区は、町田街道から、多摩境通りへ繋がる狭隘道路（こども達の通学路含む）が、東は中村町内会内、東西のまん中に御嶽堂町内会、西は田端・響きの丘町内会にあります。近年住宅開発も進み、それに伴い車も増え交通量も多く、これら生活道路も抜け道として利用されております。大きな事故等が起こる前に対策を講じて欲しい。この狭隘道路に関しては、何度か要望をしておりますが、未だに明確なご回答は頂けておりません。市としてのお考えを示してほしい。例えば、カーブミラーの設置場所の見直しや、新規設置、看板等での注意喚起を周知徹底させる様な取組等が考えるのではないのでしょうか。町田市全域に於いても狭隘道路はあると思います。

その地区は、市としてどのような対応（対策）を行っているのでしょうか。小山地区として、明確な回答をいただけるよう要望致します。

①多摩境通り交通環境整備

多摩境駅東入口交差点～多摩境駅前交差点間における右折専用車線から直進車線（左折線）への割り込み対策。

②送迎車両等のアクセス改善

欧米のような「キスアンドライド」方式の採用が安全性、利便性の向上を図る上で有効ですが、多摩境駅ではその事が全く考慮されていません。

『キスアンドライド、バスアンドライド』方式に対応する自家用車や従業員送迎バス等の乗降者用の待機スペースを備えた「一時停車場所」を設けて頂きたい。

令和5年末迄には、5階建ての京王電鉄様の複合ビルも竣工し、交通量も増えると思われまます。

③多摩境通り無電柱化

渋滞解消のみならず、災害時の避難路や緊急車通行路確保、自転車事故撲滅の観点からも、無電柱化により道路幅拡張計画の再考を要望します。

①②③前年度要望した3点であります。資料的には保管されていると思ひます。一年が過ぎました所での、進捗状況をお聞かせ願ひます。

【回答】

道路部長

交通インフラ整備の要望路線は、多摩境通りと町田街道を接続する5路線と伺っております。

これまで町田市は、多摩境通りと町田街道を接続する路線について、様々な交通安全対策を実施してまいりましたが、各路線の更なる交通安全対策と、町田市内における狭隘道路の交通安全対策について、具体的にお答えします。

まず、1つ目の路線は、青色の路線となります（資料「議題1交通インフラ整備1」）。内容は、しまむら小山町店脇の市道の側溝蓋のがたつきや段差の解消、外側線を設置することと、この路線にある交通安全施設の見直しであると伺っております。

この対策ですが、しまむら小山町店脇にある側溝蓋のがたつきと段差は、9月29日に補修して、解消しております。

外側線の設置については、原則として路側帯の幅1mと車道の幅員4m以上が必要となり、当該区間の道路幅員は、約5.2mのため、両側に路側帯を設置することは難しい状況です。

今後、市と警察で、安全な歩行空間の確保に向けて、片側のどちら側に外側線を設置することが効果的か調整してまいります。設置にあたっては、沿道にお住いの方々の同意が必要となりますので、その際は、とりまとめのご協力をお願いします。

また、この路線において、路面標示が薄くなっている箇所を確認しましたので、交差点のT字マークは町田市が引き直し、横断歩道、ダイヤモンド、一時停止等の交通規制に関する路面標示は、警察へ引き直しの要請をしております。

次に、2つ目の路線は、赤色の路線となります（資料「議題1 交通インフラ整備2, 3」）。内容は、御嶽神社近くの曲がり角において、見通しが悪く車両のすれ違いが円滑にできない状態であると伺っております。

この対策ですが、この曲がり角には、カーブミラーを設置していますが、道路に勾配があるため視距が十分に確保されていない状況でした。そのため、10月6日にカーブミラーの向き調整と、対向車注意の看板を設置しました。

次に、3つ目の路線は、緑色の路線となります（資料「議題1 交通インフラ整備2, 3」）。内容は、多摩境通りから町田街道に向かう道路は、下り勾配であることから、車両がスピードを出して、危険であると伺っております。

この対策ですが、スピード落とせの注意喚起看板を、10月6日に1箇所設置し、民有地にある電柱にも、地権者の同意が得られた後に、もう1箇所設置してまいります。

更に、この路線については、今後、交差点があることを強調するT字マーク5箇所の引き直しをしてまいります。また、小山中央小学校脇の区間については、今年度の通学路点検で外側線の設置要望をいただいております。現在、設置が可能か調整をしております。

次に、4つ目の路線は、桃色の路線となります（資料「議題1 交通インフラ整備4」）。内容は、多摩境駅から町田街道に向かう道路は下り勾配であり、車両がスピードを出すこと、及び、町田街道から多摩境駅に向かう歩行者が路肩を通行するため、危険であると伺っております。

この対策ですが、10月23日に、多摩境駅から町田街道に向かう車線には、スピード落とせ、歩行者注意、交差点注意の看板を設置しました。更に、この路線については、速度落とせの路面標示を設置してまいります。

また、30kmの速度制限を示す路面表示が薄く、視認性が下がっているため、警察に引き直しの要請をしました。

次に、5つ目の路線は、オレンジ色の路線となります（資料「議題1 交通インフラ整備5」）。内容は、多摩境通りから町田街道に向かう道路が、下り勾配であることから、車両がスピードを出して、危険であると伺っております。

この対策ですが、曲がり角にあるカーブミラーが老朽化によって曇っていること、交差点があることを強調するT字や十字マーク、外側線、交差点において優先道路を示すドット線が薄くなっているため、今後、T字マークなどの引き直しや、カーブミラーの取り換えをしてまいります。

最後に、町田市内における狭隘道路の交通安全対策について、お答えします。

町田市道における、外側線、カーブミラー、ガードレールなどの交通安全

施設の新設につきましては、地域の皆様からの要望に基づき、現地調査を行い、設置の可否を判断した上で、危険性が高い箇所から順次、新設しております。

交通安全施設の修繕や、区画線の引き直し等につきましても、同様の手順で行っております。

但し、横断歩道や停止線等の交通規制に関わるものは、警察の所管となりますので、直接警察に要望していただくか、市に要望いただければ所管警察署に対応を要請してまいります。

お気づきの箇所がございましたら、遠慮なく道路部道路管理課までお知らせください。

①多摩境通り交通環境整備について、お答えします。

多摩境通りを国道16号方面に向かって、多摩境駅東入口交差点を過ぎると、予め車線変更ができるようにするため、直進左折レーン及び右折レーンがあることを予告する路面標示が3箇所あり、本来、車両は、この路面標示を目安に、車線の変更をしていただくこととなります。

昨年度の市政懇談会では、多摩境駅前交差点の直進車両を円滑に通行させるため、直進左折レーンと右折レーンの間にある約70cmの車線空間を利用して、直進左折レーンの車線幅を広げ、円滑な直進車両の通行を目指したいと回答しております。

その後の現地調査の結果、車両や歩行者の交通量が多い時間帯では、横断する歩行者がいる場合、直進左折レーンで、左折車両が2台連続すると、後続する直進車両が進めないケースが多いことを確認しております。

その上で、警察からは、車両の滞留を緩和するために、直進左折レーンを70cm広げると、左折待ち車両と、右折待ち車両の隙間を縫う車両による接触事故の危険性が生じるとの見解が示されました。

このため、警察において、歩行者信号機が赤に変わった後、一定時間左折車両が通行できるように信号機の時間調整を行い、直進車両を円滑に通行させるための検討をして頂いているところです。

次に、②送迎車両のアクセス改善について、お答えします。

一時停車場所の設置を要望する箇所は、多摩境駅東入口交差点から多摩境駅前広場までの間と伺っております。

2020年度と2022年度の市政懇談会で、同様の回答をしておりますが、これらの箇所は、駐車禁止の交通規制がされており、一時停車場所を設けると、禁止されている駐車を誘発する恐れがあることから、設置できないと警察から再度見解を頂いております。ご要望の箇所は、駐車禁止の交通規制は実施されておりませんので、直ぐに発進できる状態を保つ等、交通ルールを守ってご利用いただきたいと考えております。

また、警察からは、京王電鉄の複合ビル竣工後に交通量が増加した場合、

多摩境駅東入口交差点から入った南側の道路に停車車両があると、車両が輻輳（ふくそう）して、危険であると伺っております。京王電鉄の複合ビル竣工後の交通安全対策については、現時点において危険な状態が明確になっておりませんので、竣工後の交通状況を勘案しながら、警察と市が連携して、対応してまいります。

最後に、③多摩境通りの無電柱化についてですが、現在、町田市道の無電柱化については、市道路線約1,280kmの内、13.2kmにとどまっております。無電柱化率としては約1%です。

この数値は、近隣自治体である相模原市や川崎市と同等の水準です。

町田市では、2020年3月に策定した「町田市無電柱化推進計画」において、2020年度から2025年度までの6年間で優先的に無電柱化に取り組む「無電柱化優先整備路線」を選定しており、この計画に基づいて、新設する都市計画道路や中心市街地の道路及び消防署前の通り等の無電柱化整備を進めております。

多摩境通りは、「無電柱化優先整備路線」に位置づけておらず、現状において無電柱化の整備時期は未定となっておりますが、次期無電柱化推進計画の見直しの際に、防災、安全・快適及び景観等の観点から、無電柱化優先整備路線としての位置付けの可能性について検討してまいります。

なお、渋滞緩和や自転車通行空間の整備等については、引き続き、交通管理者である警察と連携を図ってまいります。

《質疑》

ルネグランディア自治会

2番の送迎車両のアクセス改善の件です。ちょっと考え違いされているようなところもありましてお伺いするのですが、私が見た感じでは、あそこのロータリーは、今、例えば、雨の日に娘を学校に連れていくために、電車に乗るときに送迎するのですが、そうしますと、止める場所がないということが問題なのです。といいますのは、タクシーが止まる場所があります。バスの止まる場所も2つありますが、民間車両が止まる一時停止場所がないのです。せっかく駐車場があつて、真ん中にも6台、止める場所があるのですが、そこはタクシーしか使えないのです。今、ほとんどの時間、タクシーは止まっていないのに、タクシー専用なので学校や会社に通勤する人の送迎ができないので、是正をお願いしたい。1度ロータリーを見てもらいたいと思います。

道路部長

1つの例ですが、鶴川駅の西側に、今はタクシーが止まっている広場があるのですが、そこは、以前は一般車に開放していました。そうしたら、皆さ

ん、そこに車を止めて、どこかに行ってしまうという状況が結構見られた時期がありました。それで広場の一部をタクシー待機スペースに変えたら、皆さん、迅速に送迎だけしてどんどん出ていく様になりました。バスやタクシーは公共交通ですから止めるという形を取っていますが、基本的には、この広場は止める場所ではなく、送迎車両の方については、降ろして速やかに移動していただくことが原則になっています。ご要望は、何年もいただいております。今タクシーが止まっていないから、ここを一般車に開放するという選択は、以前の様に、駐車を呼び込む状況にもなるので、今すぐそれを一般車両用に変えるという判断は難しいと思っています。

ただ、先ほど申し上げたように、このロータリーの中も駐車禁止にはなっていないので、停車して、例えば出入口の付近に幾つかガードレールが切れているところがありますので、そういったところで速やかに送迎をして、ロータリーから出ていただくことをお願いします。

すぐ移動できるような状態で、うまく使っていただきたいというのが市の考えです。

ルネグランディア自治会

今言った回答の件なのですが、昔、私もあそこに通ったときに、20何年住んでいるのですが、電車が少なかった。今は人も多くなっています。その分、送迎は昔から比べるとすごく多くなっています。私もあそこをよく利用させてもらうのですが、非常に不便です。今言われたように、タクシーが止まっているのは見たことがない。子どもが帰ってくるのを待つのですが、バスが来ると追い出される。また回ってきて、その繰り返しです。あそこは何とか解消していただきたいというのが要望です。実態を見ていただきたい。

道路部長

実態は我々も何度も見ており、元々タクシー待機場も無く、違法駐車がひどかったのが現在の形態にしています。今後、交番もできますので、警察官も近くにいるようになります。また連携を取りながら、使い方というのは、市としても考えていきたいと思いますが、そこを開放するかどうかというのは、最終的には警察の判断になります。

中村町内会

交通インフラの件で、しまむらの部分で要望に対してのご回答があったと思うのですが、直近で修繕していただきまして、誠にありがとうございます。私のほうでも確認させていただいて、以前ほどのがたつきはなくなったと認識しています。

それで、そのこのところに外側線を引きたいという部分で、市からは民間側

に引くというご回答があったと思うのですが、そのところは実際問題、子どもの通学路になっていまして、側溝の上を歩いていることがよく見られると。その中でがたついているから何とかしてくれよということで、そういう話をしたのですが、できればしまむら側に引いていただければ大変ありがたいと思っています。そのところをご検討していただければと思います。よろしくをお願いします。

道路部長

市としては、どちらに引くかは地域の使い勝手にいいと思っています。ただ、子どもが懸念しているのは、路側線をしまむら側に引きますと、今まで路側線がなかったから、車は真ん中を通ったり、端を通ったりしていましたが、路側線があることによって、路側線がない側に車が寄る可能性がありますので、その辺を踏まえながら、沿道の方のご了承を得た上でご相談いただければ、子どもとしては地域の意見を尊重したいと考えています。

中村町内会

しまむらの先の十字路の先は、左側に上まで続いているのです。それに伴って引いていただければという見解です。

道路部長

分かりました。地元の希望に沿うような形で考えていきます。

2 境川ゆっくりロードの整備

かなり道路が傷んできております。未舗装の場所も多く、舗装されている所も劣化が激しく、歩行者にも、自転車走行にも危険が伴う箇所があります。遊歩道の両脇も夏場は特に雑草も茂り、道幅も狭くなります。車道と交差する場所については見通しの悪い所もあります。舗装の整備を端まですることに依って草も生えにくくなりますし、歩行者用と自転車用のゾーンを分けることも出来るのではと、思います。

老若男女問わず散歩コースでもあり、運動の場でもあるため、市の考えをお聞かせいただき、また、明確な回答を頂きたいと要望致します。

【回答】

道路部長

2 境川ゆっくりロードの整備について、お答えします。

まず、境川ゆっくりロードは、河川管理用通路を河川管理者の神奈川県及び東京都から、町田市が借りて、一般に開放している道路です。

舗装部分の要望区間は、図面のとおり坂本橋から小山橋までの間であると伺いました。

この区間を現地調査したところ、約25箇所で、舗装のひび割れや根上で損傷している箇所を確認しましたので、路面補修を実施してまいります。

また、河川管理用通路の幅は、約4mありますが、その内、舗装幅員は2.5m～3.0m程度となっており、舗装の両脇では草が繁茂していることや、私的な花壇、植木、ベンチ等が置かれていることを確認しております。

舗装幅の拡張には、地域の協力を得ながら、私的な花壇等の撤去対応や、河川管理者の許可が必要となるため、舗装するまでお時間が掛かることをご理解下さい。

また、境川ゆっくりロードを、歩行者用と自転車専用ゾーンに分けることについてですが、境川ゆっくりロードは、スピードも気持ちもゆっくりの理念のもと、小さなお子さまから高齢者の方まで幅広い世代の方が歩いても、自転車に乗っても安全で快適に楽しく利用できる道路を目指して、愛称の決定をしております。

この理念に基づきご利用していただきたいことや、歩行者用と自転車専用ゾーンを区分するには幅員が狭いこと等から、難しいと考えております。

続いて、未舗装部分の要望区間については、図面のとおり坂本橋から西側であると伺いました。

坂本橋から西側約300mまでの舗装済の区間は、境川ゆっくりロードとして管理しておりますが、更にその先の区間については、境川ゆっくりロードには指定していない河川管理用通路です。

未舗装部分の河川管理用通路を新たに舗装するには、車両の通行を制限し、歩行者と自転車が通行する空間として、町田市が境川ゆっくりロードの指定をすることが必要になります。

そのため、沿道の方々に車両の通行を制限することについて同意をいただいた上で、具体的に境川ゆっくりロードとして希望する区間を、道路部まで連絡いただければ、河川管理者である神奈川県津久井治水事務所と調整してまいります。

なお、蓬莱橋（ほうらいはし）から、高砂橋（たかさごはし）までの間については、車両の通行の制限と、舗装がされているため、境川ゆっくりロードとして指定することを検討してまいります。

町田市としましては、引き続き、利用者の皆様の意見を伺いながら、安全で安心して「境川ゆっくりロード」をご利用頂けるように努めてまいります。

《質疑》

ルネグランディア自治会

このゆっくりロード、名前はすごくいいですよ。これは、もっと本当に活用できるように考えていただきたいと思う。私もよく使って町田駅前まで行くのですが、立派なところがあつたり、狭くなつたり、せっかく境川ゆっくりロードというぐらいただつたら、あそこは学生さんでマラソンをやっている方もいるのですが、ずっと境川に沿って市民の憩いの場所として使えるように整備していただきたい。継ぎはぎだらけというところが至るところに見えるので、なるべく市民の憩いの場所として使えるように今後やっていただければと思います。

道路部長

市としても少しでも多くの市民の方にゆっくりロードをご利用していただきたいと常々思っているところです。ただ、さらに広げるのは、あくまでも河川管理用通路で、土地の取得とか様々なハードルが出てきてしまうので、そこは難しいと感じているところです。ただ、できる範囲で皆さんが使いやすいようにしていきたいと思っていますので、具体的にここの場所ですらうしてほしいということがあれば、道路部へ遠慮なくご相談いただきたいと思ひます。

3 多摩境駅前交番について

町田市として公園の土地を提供してから間もなく3年目になると思われまひす。連合で持っている情報では、今年11月頃迄には、入札、建設業者が決まるのではないか。今年5月南大沢警察署地域総務課より頂いた一番新しい回答です。

当然町田市としましても、土地を提供されているわけですから、常に気にかけて頂いていると思ひます。これからも、小山連合町内会としては、南大沢警察署との係わりを持っていきますが、この件について市の進捗状況をお聞かせ願ひます。

【回答】

防災安全部長

小山多摩境公園内に建設予定の「多摩境駅前交番」は、警視庁において、これまでに2度の開札が行われ、いずれも不調に終わっているところでございます。

これを受けまして、市といたしましては、本年5月に、建築計画の担当である警視庁施設課に対し、建築の早期実現が叶うよう、申し入れを行つてまいりました。

現在、警視庁から共有いただいている最新の情報といたしましては、専門家の意見を踏まえて計画を見直し、本年12月中に予定されている開札で業者が決定するように準備を進めていると伺っております。

その結果については、これまでとおりの南大沢警察署から小山連合町内会の皆様にも周知いただけるとのことです。市としても、引き続き状況を注視してまいります。

《質疑》

ルネグランディア自治会

計画の変更ということですが、変更の内容をお聞かせ願えますか。

防災安全部長

警視庁に確認させていただいたところ、物価高騰の関係と、警視庁が建てる建物について業者が手を挙げてくれなかったという話は聞いています。それはなぜかといいますと、通常の公共施設の建物に加えて、警視庁の建物というのは若干注文が多いらしくて、そちらのほうでのいろいろと業者とのやり取りがある中で、今は手を挙げていただけなかったというのが2回目までのところと、物価高騰があったということを警視庁側も踏まえた上で、今回は、それを上乗せした形で公告をしていると聞いています。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは、2部に参ります。ところどころ抜粋して報告をさせていただきます。「2023年度市政懇談会 市政報告概要」という紙で、左側に*印がついていますので、それが項目になっております。

まず、2番目の保育園は、待機児童が今年の4月で30人ということになりました。一番多いのは南地域で、小山地域は比較的落ち着いてきたのかなと思います。4月時点で30人なのですが、今、60人定員の保育園をつくっている最中で、来年の4月開園を目指しています。とあって、来年ゼロになるかどうかはちょっと分からない状況です。

3番目、「学童保育クラブの待機児童ゼロ!」。ビックリマークがついて言っていますが、三多摩では、基本的に学童保育はみんな待機児童です。多分、町田市だけだと思うのですが、待機児童ゼロなのです。そこが違うところで、ビックリマークがついているのはそういうことでもあります。町田市ではあまり話題になりませんが、保育園、幼稚園から小学校に上がる時に学童に預けようとするのと預けられないというので、ひどいケースは仕事を辞め

るお父さん、お母さんもいらっしゃいます。それを「小1の壁」と呼んで、最近、新聞であちこち出ております。ただ、町田市の場合はそういうものはありません。

4番目、東京都立の児童相談所が町田市内につくられることになりました。これはもう決定済みです。既に東京都が発表しています。ただし、いつつくるといことは発表していません。私たちの予想では、再来年ぐらいではないかなと。2025年度には児童相談所が町田市内につくられるということで、現状、山崎保育園の隣の町田の丘学園が使っているところが空きますので、そこを児童相談所のスペースとする予定です。ただし、これは私どもとしてはあくまでも暫定で、今から6年後ぐらいには旧忠生第四小学校、現在の教育センターの敷地のところに本格的に建物を建てて児相に入ってもらおうという計画をしています。

この辺のところは、忠生地域の地元の人にはお話ししているのですが、教育センターそのものは、例えば、不登校だとか、いろいろな教育相談をやっているところですよ。教育委員会の教育センターの機能と、今申しました児童相談所の機能、あるいは子ども家庭支援センターも入るといことで、関連したほかの施設も入る複合的な子ども相談の施設として今計画をしております。

それから、学校の統廃合の話はあちこちで今進んでいます、小山地域はもうちょっと先になるかと思えます。

中学校全員給食が始まります。一番早いのは堺中学です。小山ヶ丘小学校の卒業生は、たしか堺中に行っていると思うので、来年、年が明けて2学期からは全員給食になると考えています。ほかのところはもう少し遅くて、一番遅いのは南地域の25年の2学期といことで、ここが最後で、それまでに全部全員給食になります。

その次の教員の負担軽減のところですが、2020年度の給食費の公会計化、教員が集めないといことになって、市役所でお願いして、口座を設けていただいて、そこから引き落としする方式に変わりました。学校の先生がお金を扱わなくなりました。今年から教材費も扱わなくなりました。市のほうのお金になりますから、市から保護者へ請求と。これも教員が手で集めることをやめました。こちらは、あまりほかの市ではやっていません。なるべく教員が授業の準備とか、実際の授業の時間を確保しようといことでやっております。

その次は、高校生世代の医療費無料化がこの4月から始まりました。東京都としては、今のところ、無料化の財源は令和5年、6年、7年で、8年になると半分になるといことを言っていますが、私が東京都の市長会の会長だったときは結構もめまして、つまり将来、市が負担をするといことなのだけれども、3年たったらやめてしまう、東京都のものは半分になってしま

うということで、では、市は無料化をやめられるかということ、そんなことはなくて引き続き無料化をせざるを得ないわけですから、そういうことを言わないで、この先もずっとやるという約束をしてくださいと言っていたのですが、最後まで、うんと言わなかったです。今もまだやっています。取りあえず3年間は、市もお金を出さなくて東京都が全部やることになっています。

次は高齢者ですが、特別養護老人ホームの建設について、地元の皆さんにはご理解をいただきましてありがとうございます。2009年のデータですと、入所申込み後、1年以内に入った方が45%、現在は大体85から90%ということで、2022年のデータですと91%が申込みから1年以内に入れる。大体が半年ぐらいで入る。遅くても1年以内に入れる状況です。特別養護老人ホームの話も、実はこのようになっているのは町田市だけでありまして、ほかの市では2年、3年待つのは当たり前。でも、市内や区内に入れれば、それはもう御の字の話でありまして、実際は東京23区ですと北関東が中心です。群馬、栃木、茨城というところでないといけないのが現状です。町田市内にたくさんつくって、町田市内の特別養護老人ホームに入る、あるいは自分たちの市の中で入るというのは非常に珍しいケースです。23区は、区内は無理なので北関東になってしまうのですが、府中や調布もみんな西多摩に行くか、栃木、群馬に行くか、大体どちらかになると思っています。町田市で話題にならないということは、それなりのサービスが何とかできているということだと思います。

ちょっと飛ばして、スポーツ公園です。今年の9月に忠生にスポーツ公園ができました。といっても、これは焼却灰を埋めた処分場の上に土をかぶせて、今、芝生を張っているところで、清掃工場のすぐ横です。桜台団地と道路を挟んで反対側にオープンしました。非常に好評で、たくさん子どもたちがその芝生で遊んでいます。

それから、4月には小山上沼グラウンドがオープンしました。同じように本町田後田グラウンドもオープンしています。ちなみに、金森の西田が3年半後にグラウンドを備えた公園としてオープンします。下が境川の氾濫防止の調節池です。先ほどもお話がありましてとおり、市政懇の中では話題が出る境川の浸水対策が、基本的にもうすぐ完了します。あとは上に蓋をかけて公園にするという事業が残っているということで、下流のほうで少しのみ込んでもらおうという工事がもうすぐ終わります。

最後、バイオエネルギーセンター、先ほど言いました清掃工場は去年の1月から稼働しています。近隣には温浴施設もできています。

資源ごみですが、ビン、カン、プラスチックの圧縮施設、中間処理施設の計画が進んでおりまして、相原の大戸小学校のやや東で工事をこれからやりまして、2028年度には完成をする予定です。ここは町田市内の全体量の3分の1から2分の1近くを受け持っています。残りはどこかということ、上

小山田のリニア中央新幹線の立て坑、非常口というものをやっていますが、その横に今計画をしています。そちらは2037年度にならないと稼働しませんので、まだまだ市域全域に市の施設でというわけにはいかないのですが、2028年度からは相原の施設が稼働します。容器包装プラスチックについては、現在のところ横浜線の南側地域を対象として、市の圧縮梱包施設でやっています。

市の施設ができるまでは民間事業者にとってもらって、容器包装プラスチック、ビン、カンの中間処理をしていただくこととなります。実は財政問題がありまして、市の施設でやりますと、イニシャルは別として安くできるのですが、民間事業者の場合はイニシャルの施設も含めた利益を確保しなくてはいけないので、かなり高くなります。10年ぐらひは市の財政を非常に圧迫することになるかと思いますが、2026年度、2年半後には、ここも含めて全部容器包装プラスチックを分別することになります。ゴミ袋は黄色から、黄色とピンクの2種類になります。ピンクの袋は黄色の袋の半分の値段で、手数料分として買っていただくことになって、ピンクの袋に容器包装プラスチックを入れていただいて、黄色の袋に生ごみを入れていただくことが2年半後からスタートします。そのスタートをする前には、申し訳ないのですが、町内会・自治会の皆さんにはどうやって分別するかという話をやらなくてはいけない。もちろん、小学校でお子さんたちにも勉強してもらいます。小学生が覚えますと、お父さん、そのやり方は違うよなどと、大体小学生が言ってくれますので、我々としては小学校の教育は結構重要だと思っています。大人がいい加減にやっていると、子どもはしっかりしているとか、厳密なので、それは駄目だと言ってくれるのではないかと期待しています。というわけで、2026年度から始まりますのでご協力をいただきたいと思っています。

このところは実はもうちょっと背景がありまして、去年稼働した清掃工場は、約50年前からずっとあそこに工場があるのです。前の前の工場、そして前の工場、今回の工場も同じ下小山田と図師町にできています。今回、建設するに当たって、つまり立地を決めるに当たっては、下山田にあるビン、カンの処理施設を2025年度までに移転することになっています。あそこからなくしますという条件で、新しい工場を同じところにまたつくっていいという合意が得られて、あそこに新しい工場ができたのです。ですから、2025年度には、今、下小山田にあるビンやカンの処理施設、四、五年遅れていますが、約束どおり撤去することになりました。それに合わせて、先ほど申しました2026年度から容器包装プラスチックを市全域で分別することにしています。お金はかかりますが、民間の事業者にお願いをすることになります。

私ども町田市の資源化率、多摩26市の資源化率が公表されているのです

が、ビリから3番目で24番目、非常に低いのです。その一番大きな要素は、容器包装プラスチックが燃やされているからです。容器包装プラスチックを燃やしている限りはビリから3番目を抜けられませんので、2026年度からやるというのは、プラスチックの資源化、あるいはごみの資源化だけではなくて、CO₂排出量を抑えるということもあるのです。プラスチックのキログラム当たりのCO₂の排出原単位は非常に大きいのです。ほかの紙を燃やすなどに比べて何倍もたくさんのCO₂を、炭素の塊みたいなものですから出しますので、町田市がやっている温室効果ガス排出実質ゼロへ向けた計画の中でももう既に、逆に言うと容器包装プラスチック分別をするという前提で今、町田市ゼロカーボンシティ宣言を出しています。環境問題からいっても容器包装プラスチックを燃やしていること自体がかなり問題なのですが、早めに解決しようという意図があります。つまり地元との約束であそこから撤去するということがあります。プラスチックはCO₂の負荷が非常に大きいので、それも燃やさないようにしようということで、全域でお願いをするということにしていますので、ご協力をお願いしたいと思います。

《質疑》

田端町内会

ニュースにも出ている問題なので、楽しいほうからいきますと、ゼルビアです。交通問題が多分出ると、LEDにライトを変えるというニュースになりましたので、町田市としてどのようにお考えなのか、お聞かせ願いたいのと、それから、最近、相原町だと思いましたが、ニュースでは町田市に熊が出たと。この問題についてどのような対処をお考えか、お聞かせください。

町田市長

同じ日に町田市でニュースがあつて、1つがゼルビアの話で、1つが熊の話だと。どっちもいきなり町田市が話題になりましたが、熊は、1件目は、足跡で確認をされています。今、元の青少年センターのキャンプは危ないということで閉鎖になっています。2個目の情報があつたのですが、それはどうも熊と確認されなかったようで、確実なのは1件だけです。

それから、ゼルビアの話で、喜んでいいのではないかというのですが、正直、喜んでいて途端に頭が痛い問題で、多分、J1のほかのチームが来ると入場規制をかけて、ゼルビア側が7500、アウェー側が7500というふうになると思います。つまり、足して1万5000。例えば、浦和から1万人来てしまうと試合をやる前から負け雰囲気になってしまうので規制をかけるとは思いますが、それでも1万5000というのは今までやったことがないので、バスのパンク、輸送がパンクするだろうとか、いろいろあります。

公園の中のバスに乗るところが1か所なのですが、もう1か所、一遍に出られるようにしようという工事を今やっていて、そのことと、連節バスの下がこすってしまいそうなので段差を解消する工事や、野津田に神奈中の営業所が、歩いて行けるところがあるのですが、その案内表示や舗装だとかも11月10日の議会にかかります。それ以外に、予算的にないけれども、何か対策をやることになっていますので、何とか来年の2月までにはと思っています。

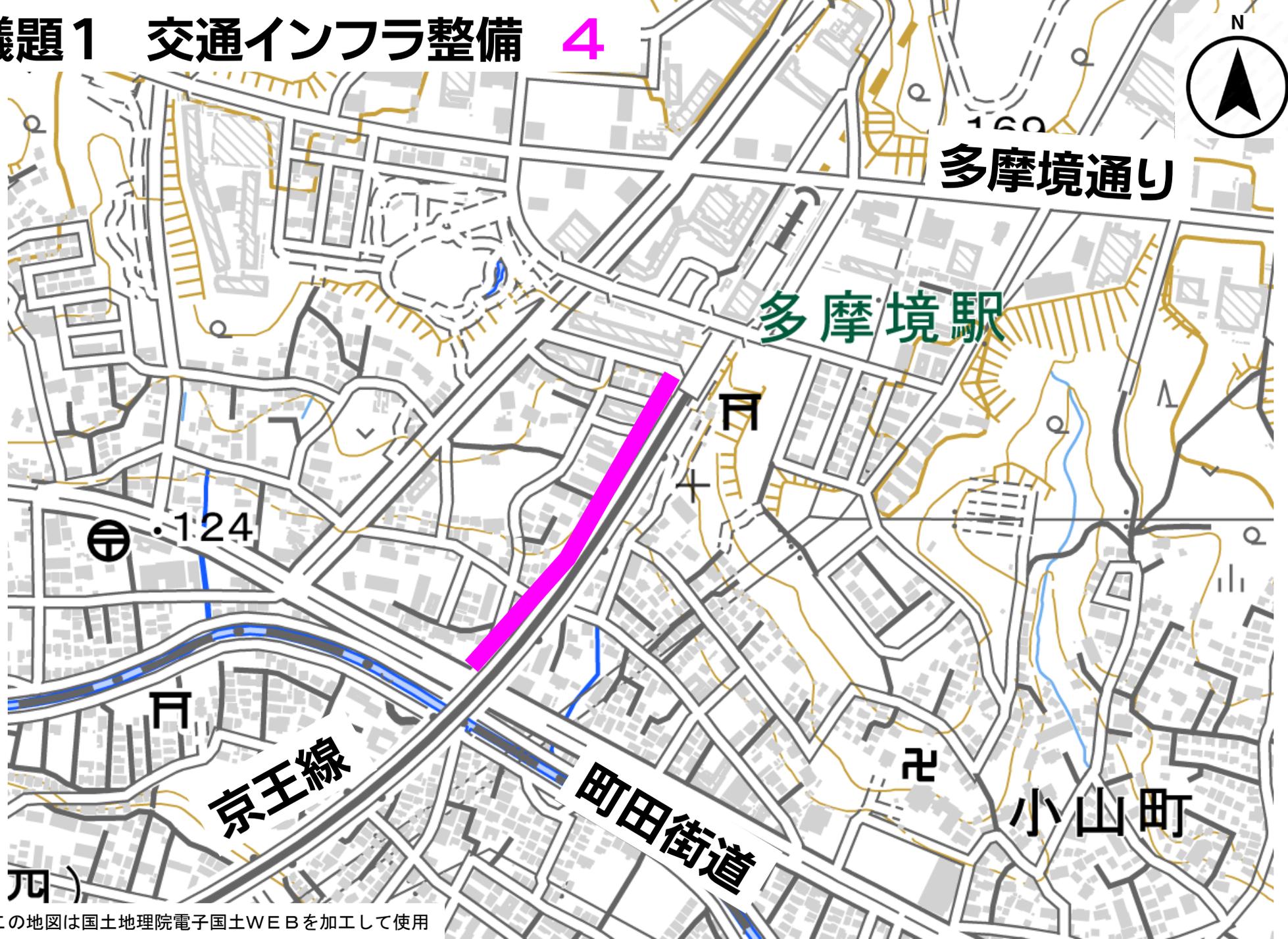
それから、LEDの話ですが、当初、主催ゲームをほかの競技場でという形で工事をする予定だったのですが、Jリーグ側は8割以上をホームでやらないといけないということで、その条件を満たさないとJリーグのライセンスを剥奪するといわれまして、特急で明後日の議会に契約議案をかけて2月のJリーグに間に合わせようと、急遽議会を開催してもらうことになりました。何とか間に合わせようということになって、バタバタしています。

○閉会の挨拶（小山連合町内会会長代行）

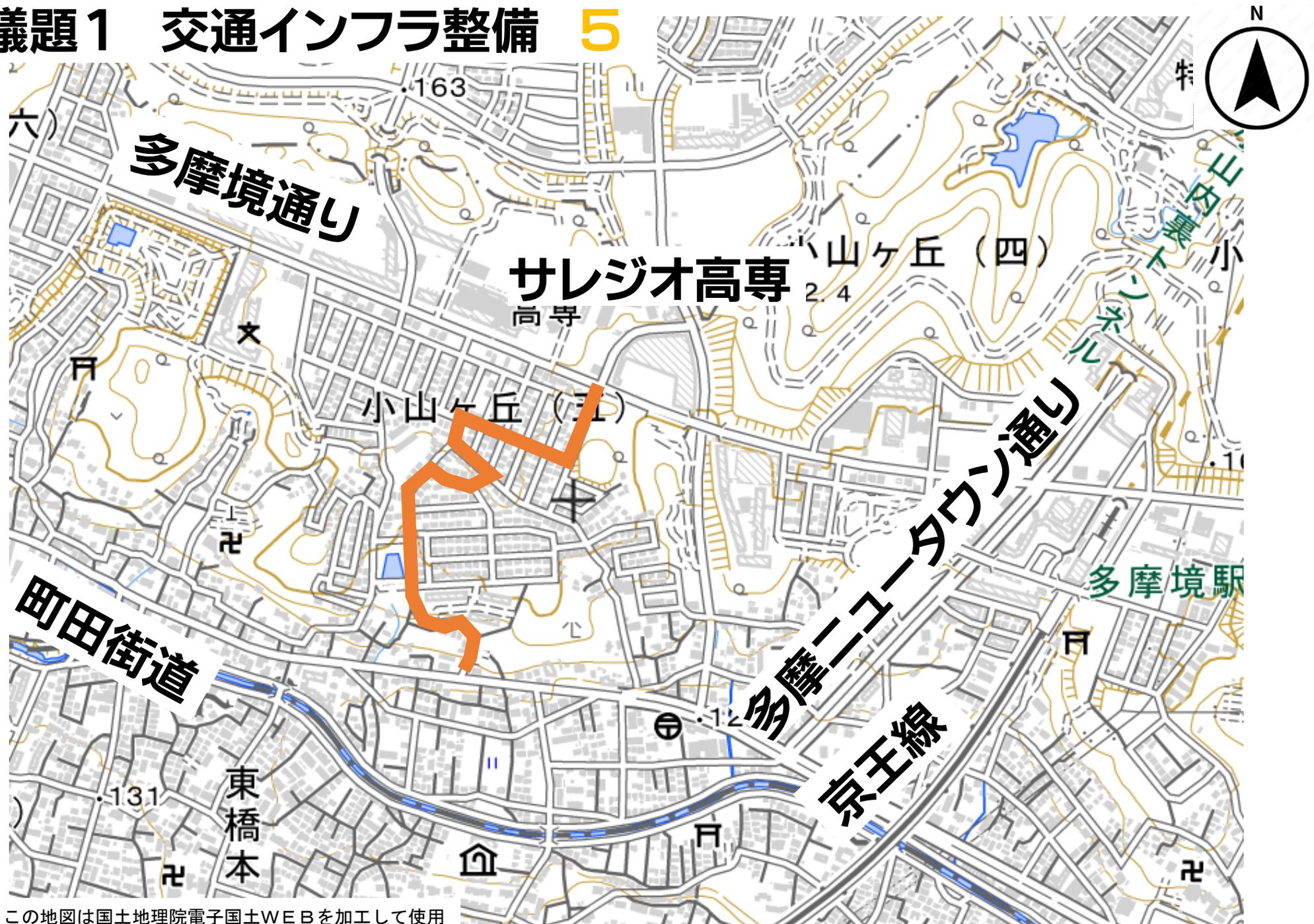
議題1 交通インフラ整備 1



議題1 交通インフラ整備 4



議題1 交通インフラ整備 5



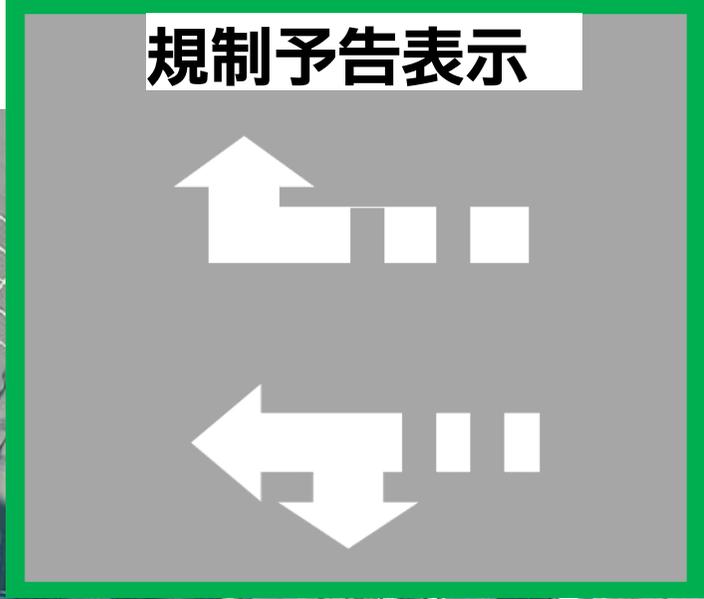
この地図は国土地理院電子国土WEBを加工して使用

議題1 交通インフラ整備 ①の1

規制予告表示

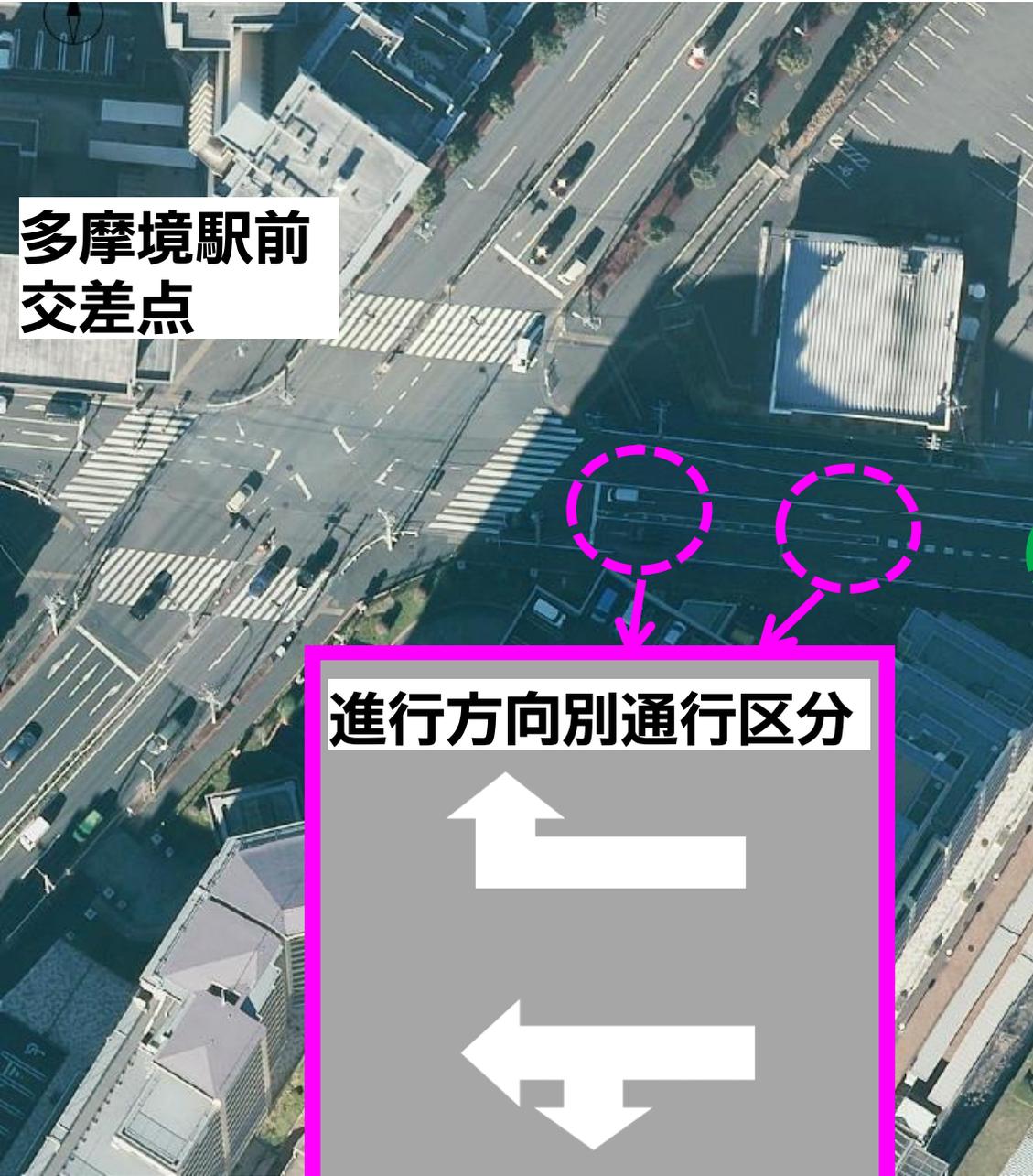


多摩境駅前
交差点

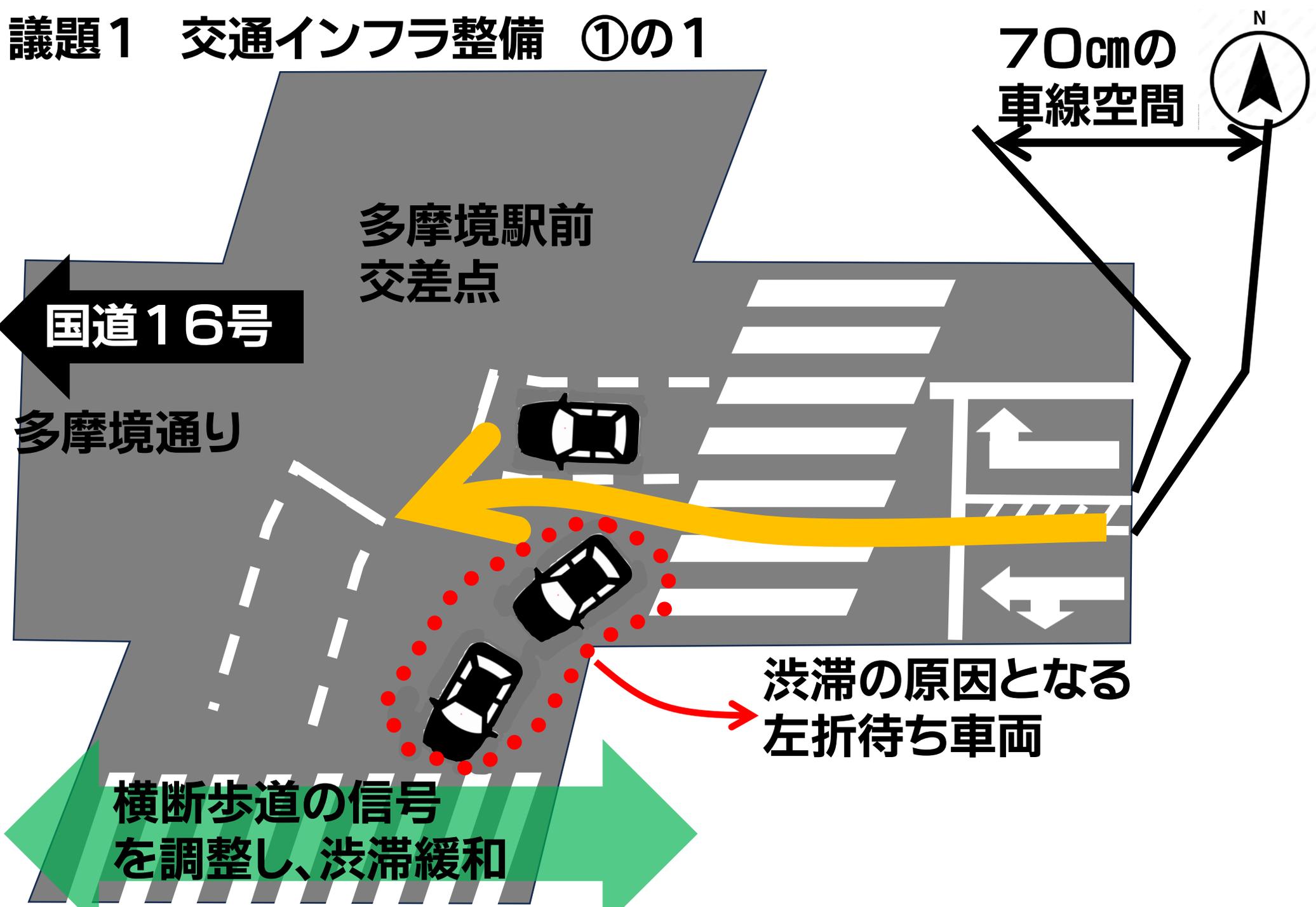


多摩境駅東
入口交差点

25m
1:500



議題1 交通インフラ整備 ①の1



70cmの
車線空間



多摩境駅前
交差点

国道16号

多摩境通り

渋滞の原因となる
左折待ち車両

横断歩道の信号
を調整し、渋滞緩和

議題2 境川ゆっくりロードの整備 舗装部分の要望区間



議題2 境川ゆっくりロードの整備 未舗装部分の要望区間



京王線

多摩ニュータウン通り

久保ヶ谷戸
トンネル

町田街道

河川管理用
通路がないため
舗装ができない

一部車両の通り抜けがあるため境川
ゆっくりロードの指定ができない

境川ゆっくり
ロード



新規指定区間



約300m



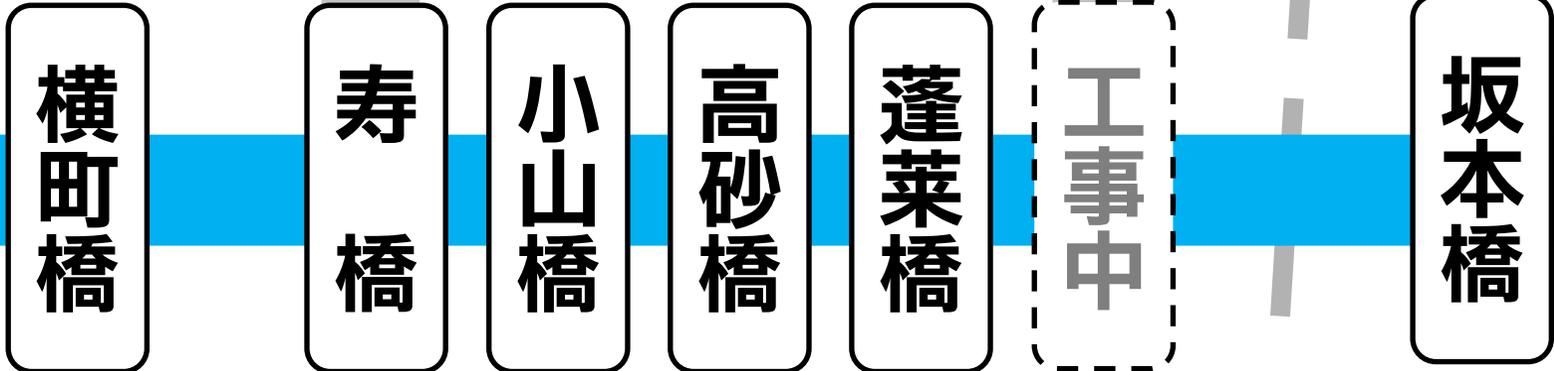
部分的に舗装

舗装済

河川管理用
通路未整備

河川管理用通路あり

境川



横町橋

寿橋

小山橋

高砂橋

蓬萊橋

工事中

坂本橋